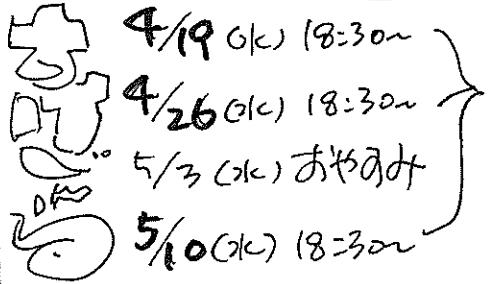


# Freude

vol. 16-22 2023.4.12 wed

111  
教会

TO/12まであと半年?

4/5は Domine Jesu を讃よみ(2. レクイエム)と並んでいた。

曲: 「また讃よみ(2つ目)」(は次のとおりごみ)

レクイエム → Confutatis (P.35) - 練半(はよみおいてか) ...

→ Osannaアーティ・サンクトゥス練半(P.59-60) → 似23行セント

→ Osannaアーティ・ペニテントラス練半(P.66-67) / ちせうひごみへ

→ Cum Sanctisアーティ...さうのアーティ(P.75~) X2ではkyrieと同じで歌ひ...

この以外は(サクタリP.2-3でアーティもアーティも)一度は讃よみしきもの。  
「金入りの方、まだおさら(きみか)」こ自身から聖譜を始めたのがTさんね!!

さて、ちょっとオソロシイかもせんが。(練習初期に歌い込まなければ)

本番は 暗譜びよ! というよりは指揮に全集中! まるでぬに。

聖譜を追いかける場合じゃアヨ。Tさんから暗譜じゆほあう。えうコト。

いふれにせよ、今回の曲、覚えて(もうから)練習してみて難いひとみゆ。

モチロンまた讃よみも強いつらし今から焦る必要はないせんか? 「暗譜」は

いままで大量に(ひどき)歌った。今からでも少しあつ顔を上げる。どうい

いい子ま(せー!)

聖譜(はよみ)かず指揮を見つけてスタート



4/5 練習メモ

Domine Jesu の 言葉 付しメモ P.43 ~

Domine Jesu Christe ← ニア部から P. 2-3 ページ

Rex gloriae ← 弱くするには歌うとき  
やかれて 呼びかげ

榮光の王よ!! ここは少しだけ大きく光輝かせること。

libera

Animas omnium fidelium defunctorum

「J」の長さをみがく。④音ひひ(ひ)とみて二。  
3音(S x m)に早く入る。3音の響きでより長く使う。

de poenis inferni, et de profundo lacu

e ごろひ opī, l 3 a u  
w i b e r a t e c ま は ら な が ふ じ い

libera eas de ore leonis

発音(いかに口型)

ニコ(ス)  
フとPのXII(ハリ)が大事!!  
言葉の内容の理解についておうむ!

解き放ちにまえ libera

死んたる 信者 全て  
defunctorum fidelium omnium

靈魂(animas)を

地獄の 罰  
inferni poenis et

底にまえ 深淵 から  
lacu profundo de

彼ら(前段の死んだ信者の靈魂)を

eas 解き放ちにまえ (libera)

獅子の 口 から  
leonis ora de

この次の Hostias まで、モーツアルトの手による作曲、と言われています。

モノの本によると、モーツアルトの作曲部分は以下の通り。

I. Requiem II. Kyrie → 完全モーツアルト

III. Sequenz

(1.Dies irae 2.Tuba mirum 3.Rex tremende 4.Recordare 5.Confutatis 6.Lacrimosa)

→合唱と通奏低音・管弦楽の手がかりまで、モーツアルトが書いている。

(ただしラクリモーサは8小節目まで絶筆)

IV. Offertorium (1.Domine Jesu 2.Hostias)

→合唱と通奏低音・管弦楽の手がかりまで、モーツアルトが書いている。

(なお、終曲は第1曲目が回帰するようモーツアルトが指示を残したとも言われています。)

モーツアルトの言葉付しメモに「フ」と「P」丁寧に書いてある